



8月1日、安楽島町の砥浜海岸^{としま}で鳥羽恐竜研究振興会による化石採集会が行われ、27組81人の親子が参加しました。

参加した子どもたちは、事前に化石が埋まっている石の特徴などの説明を受け、ハンマーやドライバーを使って石を割り、化石発掘の体験をしました。発掘体験中に、巻貝やシダの葉の化石など約20個の化石が見つかりました。

鳥羽恐竜研究振興会の山下直樹事務局長は「今回のイベントを通して、改めて鳥羽竜などの歴史を知っていただければ幸いです」と思いを話してくれました。

鳥羽竜化石発見現場で化石採集会開催



7月30日、鳥羽ライオンズクラブより結成60周年記念事業の一環として、9月末に完成予定の鳥羽市民体育館サブアリーナで使用する緞帳^{どんちよう}（舞台の幕）を寄贈していただきました。

鳥羽ライオンズクラブの谷本保明会長は「新しい施設に関わることができてありがたい。鳥羽らしい模様を選んだのでみなさんにみていただきたい」と思いを語り、中村市長は「サブアリーナを華やかにしていただきありがたい。いつも地元のためにありがとうございます」と感謝を述べました。

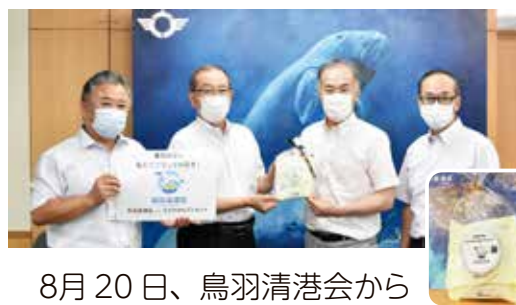
サブアリーナに鳥羽らしい柄を



8月6日、佐田浜東公園噴水前広場に鳥羽市と姉妹都市提携を結ぶサンタバーバラ市をリモート通信でつなぎ、広島に原爆が投下された時刻に合わせて同時に鐘を鳴らし、原爆犠牲者の慰霊と世界平和を祈願しました。

中村市長は「私たちひとりひとりが世界の一員であることを自覚して助け合っていきたい」と話し、サンタバーバラ市のクリステン・スニーダン市長代理は「両市民が平和を願って鐘を鳴らしましょう」と応え、両市の7人が順番に平和の願いを込めて鐘を鳴らしました。

サンタバーバラ市と鳴らす平和の鐘



8月20日、鳥羽清港会から市内の子どもたちへ鳥羽名菓「シェル・レーヌ（2個入り）」1,600セットを寄贈していただきました。

鳥羽清港会は美しい鳥羽の海を守るために毎年「海の大掃除」を実施していますが、今年度は中止となったことから子どもたちへの事業啓発も兼ねてお菓子を寄贈していただきました。

鳥羽清港会の吉川勝也会長は「子どもたちに笑顔になってほしい」と話し、中村市長は「毎年大変感謝しています。これを機に鳥羽清港会の活動が広まってほしい」と述べました。



鳥羽清港会
ホームページ

子どもたちへお菓子を寄贈していただきました